



農地の総量規制を踏まえた 産業拠点開発と事業用地開発

農業の産業化と再生エネルギー開発

オンラインセミナー
(zoom会場)

こんな方におすすめです

- ✓ 農地転用と農業振興の両立に悩んでいる
- ✓ 産業振興 × 農業の連携による新たな地域づくりを検討している
- ✓ 再生エネルギー政策と農業の融合に関心がある
- ✓ 企業立地戦略としての農業活用に興味がある
地域資源を活かした複合事業モデルを学びたい

事例

【複合的な拠点開発】

- ✓ 戦略的な施設園芸事業の誘致
- ✓ 自治体 × 大手企業との農業開発

【再生可能エネルギー事業開発】

- ✓ 果樹 × 営農型太陽光ガスの展開

10月28日(火)
13:30~14:30

参加
無料

オン
ライン
開催

定員
先着
50名

お申込み〆切:10/24(金)まで

セミナーに参加して
アンケートに回答した方に
「講演テキストダイジェスト版」
をプレゼント

大規模拠点開発・農地の再設計・企業誘致の潮流

農地の戦略的転用や大規模な拠点開発、そして農業を起点とした企業誘致や再生可能エネルギーの導入が全国で進んでいます。このセミナーでは政策動向や制度設計のポイント、地域における調整の視点など、自治体が今押さえるべき最新の潮流を解説します。



戦略的な施設園芸事業の誘致 — 磐田市の土地利用戦略 —

農地の利活用を都市計画や企業誘致と結びつける戦略として、磐田市では先進的な土地利用の考え方を取り入れています。本事例では、農地整備から拠点整備、企業連携に至るまでの構想とその実行プロセスをご紹介します。



農業を起点とした複合開発 — 常総市 × 大手企業との農業開発 —

常総市では、農業を基軸に企業連携を進め、複合的な地域開発が行われています。特に、アグリサイエンスバレー構想を通じて、農業、研究、観光、雇用が一体化する先進的なモデルが進行中です。自治体と企業がどう連携し、どのように地域資源を活かしているのかを紹介します。

再エネ事業と農業による複合事業の海外事例

— 果樹×営農型太陽光ガスの展開 —

農業と再生エネルギーを結びつけた地域づくりが国内外で注目されています。営農型太陽光発電や畜産バイオガスによるエネルギー循環型事業の実例を取り上げ、農政と環境政策の接続可能性について解説します。



登壇者



アグリコネクト株式会社 常務取締役
木原 透光

(株)船井総合研究所、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)を経て同社に参画。食・農を起点とした事業開発を専門分野として、大手企業の農業ビジネス開発、農業経営者育成、農業経営コンサルティング、地域農作物のブランディング/販路開拓、地域の食農資源を生かした農村地域のビジネス開発などを推進。農村地域のビジネス開発においては、外に売る農業から地域に呼び込む農業をコンセプトに、地域の農業経営者、観光事業者、飲食事業者などが連携した組織づくり、ビジネスづくりを重点的に支援している。

アグリコネクト株式会社

問い合わせ先

東京都港区芝公園一丁目3番8号 苔香園(たいこうえん)ビル4階

Tel: 03-5579-6122 Fax: 03-6369-3185 mail: seminar@agri-connect.co.jp